

長野県（長野県長野市）

R3補正
R4当初

16

実施年度：令和4年度

背景・課題

きゅうり栽培において、ハダニ類対策は、化学合成農薬（殺ダニ剤）による防除が中心であるが、一部の薬剤に対しては薬剤抵抗性の発達が課題。

成果目標と達成状況

- 薬剤抵抗性が発達しにくい、化学合成農薬のみに頼らない防除技術の確立のため、天敵資材及び気門封鎖剤を活用した防除技術の実証を行った。
- グリーンな栽培体系に取り組む面積
令和4年度：0.52ha →令和9年度：0.7ha

取組の成果

- 実証区において、製剤化された天敵（カブリダニ類）を適期に放飼し、気門封鎖剤を併用することで、ハダニ類の抑制効果を確認するとともに、殺ダニ剤の散布回数を4回から0回に削減することができた。なお、栽培コストは慣行栽培とほぼ同等であった。



長野市

構成員

長野県農業技術課、長野農業農村支援センター、農業者

品目

きゅうり（施設）

栽培マニュアル・産地戦略

みどりの食料システム戦略・みどりの食料システム戦略推進交付金／長野県



<https://www.pref.nagano.lg.jp/nogi/midori/midoriyoho.html>



○ナミハダニ（左下、体長約0.6mm）を捕食するミヤコカブリダニ

普及に向けた取組

長野県では、施設きゅうりのIPM実践指標を策定し、推進しているところであり、今後は市内のきゅうり生産者を対象にした研修会や個別巡回指導の実施により、天敵製剤及び気門封鎖剤を活用した防除技術の周知を図っていく。

問い合わせ先

長野県長野農業農村支援センター TEL：026-234-9536